

安心安全なマリトレジャーを目指した海難事故防止の必須アイテムRiCAS

離岸流による海難事故

- 5年間の海難レスキュー件数は全国1万件以上であり、**離岸流を起因とする事故は46%と最大**
- 離岸流は突如として様々な場所で発生→**予測・発見が困難**

RiCASによる事故防止

- AIに海面画像を入力して、海の流れている方向を解析
- 離岸流を早期発見・警告**することで海難事故を減らす

RiCASのポイント

- 従来製品：「海辺の見守りシステム」中央大学など
 - ✗ 波打ちぎわのみの監視
 - ✗ 離岸流かそうでないかのみ検出
- 本製品：「RiCAS」**選出型時空間画像方式（新方式）の採用**
 - ビーチ全体を監視
 - 海がどの角度で流れているかまで検出
 - スマートフォンでも気軽に利用可能

ターゲットユーザ

- リゾートホテル管理者** → マリトレジャー宿泊客の安全確保
- 漁業従事者** → 漁獲高は海流と密着する



RiCAS装置(企業向け)

- 監視カメラで海面画像を取得
- 大型ディスプレイで海の流れを可視化
- ソーラーパネルによる18時間の運用
- 離岸流が発生すると、警告灯点灯
- 購入費用80万円 レンタル費用7万円/月**



RiCASアプリ(個人向け)

- スマホカメラで海面画像を取得
- 画像を解析し数秒ごとに流れの向きを表示
- 利用料100円/月**
 - 2年間は無料で提供し、ユーザ数の獲得と機能改善

【ビジネス計画】

初年度計画：沖縄県西原キラキラビーチ導入
RiCAS装置10台+専用スタッフ2名
導入費800万または月額レンタル費70万



2年目：沖縄県10ビーチ、500ダウンロード
3年目：沖縄県50ビーチ、1000ダウンロード
4年目：全国150ビーチ、2000ダウンロード
年間9億円利益

